

## 行事予定 (2008年)

11月27日(木) 第5回常任・第3回全国幹事会・第32回総会・講演会  
(名古屋国際会議場)  
12月19日(金) 第6回常任幹事会

## 巻頭言

日本臨床検査専門医会  
情報・出版委員長 矢富 裕

### 【目次】

- p.1 巻頭言
- p.2 事務局からのお知らせ、教育セミナー報告、平成20年度第一回総会について、平成20年度第三回常任・第二回全国幹事会議事録
- p.4 第18回日本臨床検査専門医会春季大会報告
- p.5 日本臨床検査専門医会設立25周年記念行事報告、平成20年度行事予定のお知らせ
- p.6 第24回臨床検査専門医認定試験合格者、第19回日本臨床検査専門医会春季大会のお知らせ、会費納入について、住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について、編集後記



犬 お父さん(具満タンより)

本年度より、情報・出版委員会を担当させていただいております。皆様のご指導・ご協力をいただき、この重要な職務を全うすべく努力いたしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。渡辺清明会長の新体制の元、この JACLaP NEWS も、これまでの良さを継承しつつ、新しさも出していければと思っております。何かご意見・アドバイスがありましたら、是非、編集室にご連絡下さい。

日本臨床検査専門医会にとって、今年は節目の年であり、設立 25 周年を迎えました。7月18日には、湯島の東京ガーデンパレスにおいて、記念式典が開催され、私も出席させていただきました。本会の創設・発展にご尽力されました諸先輩先生方のお話を伺い、25年以上に感じる歴史の重みと、臨床検査が置かれた厳しい現状を打開するためにも本会のさらなる発展の必要性を肌で感じ、身が引き締まる思いでした(本号にも、関連記事がございますので、是非、お読み下さい)。また、今年7月に発行されました本ニュースの前号は記念すべき100号記念号でしたので、この101号は新たなスタートということになります。

改めて申し上げるまでもありませんが、検体検査管理加算や外来迅速検体検査加算などに関する最近の動き、臨床検査専門医の日本専門医制評価・認定機構における認定、臨床検査科が標榜可能になったことなど、本会が新たなスタートを切るのに追い風が吹いているとも言えます。情報・出版委員におきましても、会員の皆様方に有益な情報を提供できますよう努力いたす所存ですので、重ね重ねよろしくお願い申し上げます。

### 日本臨床検査専門医会

会 長：渡辺清明、副会長：熊谷俊一、渡邊 卓

#### 常任幹事：

庶務・会計 佐藤尚武、情報・出版委員長 矢富 裕、教育研修委員長 宮地勇人、資格審査・会則改定委員長 土屋達行、渉外委員長 佐守友博、保険点数委員長 渡辺清明、臨床検査専門医在り方委員長 村田 満

全国幹事：市原清志、今福裕司、大谷慎一、康 東天、木村 聡、熊坂一成、小出典男、犀川哲典、三家登喜夫、館田一博、橋本琢磨、深津俊明、藤田直久、前川真人、松野一彦、満田年宏、宮澤幸久、保嶋 実、山田俊幸

監 事：高木 康、水口國雄

情報・出版委員会 会誌編集主幹：矢富 裕、近藤成美、要覧編集主幹：木村 聡、会報編集主幹：金子 誠、情報部門主幹：今福裕司

### 日本臨床検査専門医会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-19 アルベルゴ御茶ノ水 505

TEL・FAX：03-3293-5221 E-mail：senmon-i@jaclp.org

JACLaP NEWS 編集室 金子 誠(編集主幹)

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院 検査部内

TEL: 03-3815-5411 内線 35005/Fax: 03-5689-0495

E-mail: [mkaneko-kkr@umin.ac.jp](mailto:mkaneko-kkr@umin.ac.jp)

## 【事務局からのお知らせ】

## 《会員動向》

2008年9月1日現在数707名、専門医562名

## 《新入会員》(敬称略)

今井 康文 青梅市立総合病院 臨床検査科  
 岡田 泰昌 慶應義塾大学月が瀬  
 リハビリテーションセンター内科  
 堀内 啓 NTT 東日本関東病院 臨床検査部  
 村瀬 貴幸 羽島市民病院  
 上裕 俊法 近畿大学医学部 臨床検査医学  
 佐藤 麻子 東京女子医科大学病院  
 臨床検査部・糖尿病センター

## 《退会会員》(敬称略)

須賀 龍治：東京医科歯科大学医学部 臨床検査医学  
 (2008年8月11日)

## 《訃報》

竹内 純 先生 名古屋大学名誉教授  
 平成20年3月9日ご逝去  
 心からご冥福をお祈りいたします。

## 【教育セミナー報告】

## 第70回教育セミナー

平成20年4月19日、慶應義塾大学医学部臨床検査医学  
 村田 満 教授の担当で、27名が参加して行われた。

## 第71回教育セミナー

平成20年5月11日、昭和大学横浜市北部病院 木村 聡  
 部長の担当で、25名が参加して行われた。

## 第72回教育セミナー

平成20年5月24日、東海大学医学部 宮地勇人 教授の担  
 当で、24名が参加して行われた。

## 第5回GLM教育セミナー

平成20年5月25日、宮地勇人 教育研修委員長(東海大学  
 医学部教授)の担当で、都市センターホテルにて「臨床検査  
 室における診療標榜科としてのバランスト・スコアカード  
 (BSC)の利用」をテーマに20名が参加して行われた。

日本大学商学部 高橋淑郎 教授の講義を受講し、引き続き  
 演習を行った。セミナーの内容については Lab CP Vol.27  
 No.1に掲載の予定である。

本年度開催予定の教育セミナーは全て終了いたしました。  
 来年度の教育セミナーについて12月以降に予定および内容  
 が決定する予定です。決まり次第会員の先生方に通知する予  
 定ですが、それ以前のお問い合わせに対してはご回答できま  
 せんので、ご了承ください。

## 【平成20年度第一回総会について】

第18回日本臨床検査専門医会春季大会において平成20年  
 度第一回総会が開催されました。

会場：臨床研修情報センター 第一研修室

日時：5月30日(土) 12時50分～13時10分

## 審議事項

第一号議案：議案として予定されていた会則改定案は、幹  
 事会にて再検討することが決まったため、第一号議案は取り  
 下げられました。

第二号議案：平成19年度決算(別表)が承認されました。

第三号議案：平成20年度補正予算が以下の通り提示さ  
 れ、承認されました。

① JACLaP NEWS No.100 は記念号として特別編集するた  
 め、印刷代を20万円増額する。

② 振興会セミナーを中止し、代わって日本臨床検査専門  
 医会設立25周年記念行事を開催するため、振興会補助金を0  
 円とし、設立25周年記念事業予算を新たに170万円計上す  
 る。

第四号議案：資格審査・会則改定委員会より平成20年度  
 名誉会員として黒川一郎、菅野剛史の両先生が、また有功会  
 員として富田明夫、宮井 潔、伊藤忠一の3名の先生が推薦  
 され、承認されました。

第五号議案：幹事会にて第20回春季大会の大会長に産業  
 医科大学の大田俊行教授が推薦され、承認されました。

## 日本臨床検査専門医会 平成19年度決算報告書

		項目	予算額	予算と決算の差	決算額
取 入	会 費 入 金	会員会費	5,700,000	111,000	5,811,000
		振興会会費	4,800,000	-400,000	4,400,000
		雑収入	150,000	11,573	161,573
		小計①	10,650,000	-277,427	10,372,573
	そ の 他 入 金	広告収入	800,000	-216,000	584,000
		教育セミナー参加費	1,000,000	30,000	1,030,000
		利息・雑収入	2,500	2,195	4,695
		前年度繰越金	15,000,000	2,390,520	17,390,520
		小計②	16,802,500	2,206,715	19,009,215
	A. 収入合計 ①+②			<b>27,452,500</b>	<b>1,929,288</b>
支 出	庶 務 経 費	事務局雑費	300,000	101,138	198,862
		通信費(事務局)	300,000	75,886	224,114
		人件費	2,000,000	-223,060	2,223,060
		FAX・電話使用料	60,000	12,396	47,604
		会員登録	15,000	9,876	5,124
	必 要 経 費	事務所維持費	950,000	25,711	924,289
		設備費	200,000	-122,361	322,361
		小計①	3,825,000	-120,414	3,945,414
		印刷代	2,200,000	828,091	1,371,909
		要覧印刷代	400,000	400,000	0
必 要 経 費	通信費	1,500,000	659,606	840,394	
	春季大会補助金	500,000	0	500,000	
	振興会補助金	700,000	0	700,000	
	GLM補助金	700,000	-66,894	766,894	
	教育セミナー補助	1,700,000	270,446	1,429,554	
	会議費	1,000,000	-220,279	1,220,279	
	交通費	100,000	99,360	640	
	原稿料	200,000	134,000	66,000	
	HP維持費	300,000	78,780	221,220	
	JCCLS会費	50,000	0	50,000	
予 備 費	WASPALM会費	60,000	5,624	54,376	
	臨床検査振興協議会	300,000	0	300,000	
	内保連	100,000	0	100,000	
	予備費	200,000	-43,500	243,500	
	小計②	10,010,000	2,145,234	7,864,766	
B. 支出合計 ①+②			<b>13,835,000</b>	<b>2,024,820</b>	<b>11,810,180</b>
収入(A)-支出(B)			<b>13,617,500</b>	<b>3,954,108</b>	<b>17,571,608</b>
C. 次年度繰越金			<b>13,617,500</b>	<b>3,954,108</b>	<b>17,571,608</b>
収支決算 A-(B+C)			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【平成20年度第三回常任・第二回全国幹事会議事録】

開催日時：平成20年5月31日(土)、12時～12時50分

場 所：神戸臨床研究情報センター (TRI)

参加幹事：渡辺清明、熊谷俊一、渡邊 卓、佐守友博、  
 土屋達行、村田 満、市原清志、木村 聡、  
 小出典男、前川真人、松野一彦、宮澤幸久、  
 山田俊幸、佐藤尚武

参加監事：高木 康、水口國雄 出席16名  
 欠 席：宮地勇人、矢富 裕、大谷慎一、熊坂一成、

今福裕司、康 東天、犀川哲典、三家登喜夫、  
館田一博、橋本琢磨、深津俊明、藤田直久、  
満田年宏、保嶋 実 欠席 14 名  
(敬称略)

議事に先立ち渡辺清明会長から挨拶があった。  
議事録署名人に、市原清志幹事、山田俊幸幹事を指名して議事に入った。

## 報告事項

### (1) 各種委員会について

#### ① 情報・出版委員会

(佐藤庶務会計幹事：矢富委員長欠席のため)

前回の幹事会後に委員会を開催した。担当者が交替したこともあり、出版物の発行は全体的に遅れている。Lab CP は 26 巻の 1 号まで現在の形で発行し、2 号からは新たな形式で編集する。毎回テーマを決め、特集号のような形で発行する。近日中に配信予定の JACLaP WIRE に新形式の Lab CP (2 号) の原稿募集が掲載されるので、お読み頂き、是非多数の投稿を頂きたい。

・第 1 回目は「よりよい検査室管理をめざして」というテーマで原稿を募集する。自薦・他薦を問わないので、多数の投稿をお願いしたい。(木村幹事、情報・出版委員会委員)

#### ② 教育研修委員会 (資料 1)

(佐藤庶務会計幹事：宮地委員長欠席のため)

##### セミナー実施状況報告

本年度の教育セミナーおよび GLM セミナーは全て終了した。受講状況は資料 1 の通りである。大きなトラブルはなく終了することができたが、セミナーを担当された施設のご尽力に感謝したい。

#### ③ 資格審査・会則改定委員会 (土屋委員長)

会則の改定と名誉会員、有功会員の推薦を行ったが、本件については審議事項でご審議をお願いする。

#### ④ 渉外委員会 (佐守委員長)

本年は振興会セミナーを中止し、代わりに日本臨床検査専門医会設立 25 周年記念行事を行うことを振興会の幹事に ご了解頂いた。記念行事の内容については次の議題で報告する。

#### ⑤ 臨床検査専門医在り方委員会 (村田委員長)

前回の幹事会後に委員会を 2 回開催した。様々な意見が出たが、まだ結論には至っていない。秋の日本臨床検査医学学会学術集会時の幹事会までに意見を集約し、委員会としての提言を行う予定である。

#### ⑥ 保険点数委員会 (資料 2) (渡辺会長)

4 月 22 日に日本臨床検査医学会 臨床検査点数委員会との合同委員会を開催した。資料 2 はその議事録である。委員の紹介を行い、医療ニーズの高い医療機器等に関する要望調査、平成 20 年度診療報酬改定の臨床検査に関する主なポイント、内保連に提出する「平成 20 年度診療報酬改定の実績と評価」の記載内容、今後の検討課題について討議した。

内保連に対しては次回改定に際して、生理検査、形態学的検査の点数引き上げを要望することになった。今後の検討課題として生理検査の適正な診療報酬、POCT 項目の評価を取り上げることになった。

### (2) 日本臨床検査専門医会設立 25 周年記念行事について

(資料 3) (佐守幹事)

7 月 18 日に開催予定の当会設立 25 周年記念行事の概要を資料 3 に示す。なお厚生労働省の演者は中谷課長補佐から待鳥課長補佐に変更になった。開始時間も 14 時ではなく 13 時 30 分からになる予定である。

現在鋭意準備を進めている。一人でも多くの会員の参加をお願いしたい。

### (3) 第 20 回春季大会について (佐藤庶務会計幹事)

第 20 回春季大会については前回の幹事会で九州地区での開催が決定しており、康幹事に大会長の推薦をお願いした。その後康幹事から、産業医科大学の太田俊行教授を推薦する旨連絡があり、太田先生に大会長をお願いすることになった。

### (4) その他

特になし

## 審議事項

### (1) 会則改定について (資料 4) (土屋幹事)

会則を資料 4 の通り改定した。具体的には準会員と振興会員を廃止し、賛助会員を新設した。また振興会員の廃止に伴い、第 26 条の振興会規定を削除した。更に付則 3 の B 会員の規定に関する文章を一部削除した。振興会および振興会員の廃止と賛助会員の新設は、臨床検査薬協会のプロモーション委員会からの提案を受け、前回の幹事会で審議した内容に基づく措置である。本件についてご審議願いたい。

・準会員を廃止する理由は何か。(佐守幹事)

・実際にいないためである。(土屋幹事)

・準会員を廃止するにしても、大学院生の会員に対する会費の減額措置はあった方がよい。学生会員を新設してはどうか。(松野幹事、木村幹事)

・実はこの会則改定案が提示された後に、臨薬協のプロモーション委員会からこの改定案に対し意見が提出された。本日新たな提案もあったので、会則の改定について再度検討してはどうか。(佐藤幹事)

・では再検討して下さい。(渡辺会長)

・了解した。(土屋幹事)

### (2) 平成 20 年度補正予算について (資料 5)

(佐藤庶務会計幹事)

平成 20 年度予算案は第 1 回幹事会で承認されているが、その後本年度の事業内容の変更に伴い、予算案を一部修正し、資料 5 の通り補正予算案を組んだ。具体的には JACLaP NEWS No.100 記念号を発行するため、座談会等の企画を実施することになり、印刷代を 20 万円増額した。また設立 25 周年記念行事は従来の振興会セミナーを拡大し、予算を 100 万円増額して行う予定であったが、渉外委員会報告の通り本年度は振興会セミナーの開催を中止し、設立 25 周年記念行事は独立して開催することになった。そのため振興会補助金を 0 円に変更し、新たに設立 25 周年記念行事費用として 170 万円を計上した。本件についてご審議願いたい。

・本件は承認された。

### (3) 名誉会員、有功会員の推薦について (資料 6)

(土屋幹事)

資料 6 にあるように、名誉会員として黒川一郎先生、菅野剛史先生、有功会員として富田明夫先生、宮井潔先生、伊藤忠一先生を推薦したい。いずれの先生も規定を満たしている。ご審議願いたい。

・本件は承認された。

### (4) 全国幹事の辞任について (渡辺会長)

伊藤喜久先生から全国幹事の辞任願いが提出されている件については、前回の幹事会で討議され、日本臨床検査医学会等の対応を見定め対応することになった。当会としては日本臨床検査医学会の対応に準じ、辞任を認めることにしたい。なお後任はおかず、当面欠員としたい。本件についてご審議願いたい。

・本件は承認された。

(5) 第 32 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について (佐藤幹事)

第 32 回総会時の講演会演者を次の幹事会までに決定したい。この会では少なくとも講演会の座長を決める必要がある。

・当会の総会は日本臨床検査医学会の学術集會に合わせ、今年名古屋で開催される。東海地区の全国幹事である前川先生に座長と講演者の選定をお願いしたい。(渡辺会長)

・日本臨床化学会の開催を控えており大変だが、会長の指名なので、他の幹事の異議がなければお引き受けする。(前川幹事)

・本件は承認された。

(6) 教育セミナー・GLM セミナー欠席者の参加費取扱いについて (佐藤幹事)

現在セミナー参加費は事前払い込み制になっており、当日欠席者に対しては翌年の受講を無料としている。しかし各セミナーとも赤字で実施されており、欠席者分についても事前の準備等でかなりの費用を使っている。このため欠席者に対する翌年の無料受講資格制度を来年度から廃止したい旨、宮地教育研修委員長から提案があった。ご審議願いたい。

・本件は承認された。

(7) その他

特になし。

議事録署名人

平成 20 年 8 月 25 日  
市原 清志 印

平成 20 年 9 月 9 日  
山田 俊幸 印

### 【第 18 回日本臨床検査専門医会春季大会報告】

第 18 回日本臨床検査専門医会春季大会は 5 月 30 日(金)が神戸ポートピアホテル、翌 31 日(土)は臨床研修情報センター(TRI)にて開催されました。充実したプログラムが生まれ、参加者が 100 名を超える盛会で、活発な討議が展開され終了しました。

### 第 18 回日本臨床検査専門医会春季大会プログラム

会場：5 月 30 日 神戸ポートピアホテル  
5 月 31 日 臨床研修情報センター 第一研修室

平成 20 年 5 月 30 日 (金)

神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽の間

18:00~18:50 特別講演 (イブニングセミナー)

司会 熊谷俊一

「ヘリコバクタ・ピロリ感染の臨床の位置づけ」

演者 神戸大学消化器内科学講座 東 健

19:00~21:00 懇親会

平成 20 年 5 月 31 日 (土)

臨床研修情報センター 第一研修室

9:00~12:00 検査を活かす

セッション I (9:00~10:20)

司会 岡山大学 小出典男  
神戸大学 平田健一

慢性肝炎・肝癌の検査

大垣市民病院消化器科 豊田秀徳

高脂血症の有望な検査

大阪大学病院循環器内科 山下静也

セッション II (10:35~11:55)

司会 京都大学 一山 智  
鹿児島大学 丸山征郎

救急の血栓症・凝固異常症

滋賀医科大学救急集中治療部 江口 豊

救急医から見た感染症

近畿大学救急診療部 嶋津岳士

12:00~12:50 ランチタイムセミナー

司会 産業医科大 臨床検査・輸血部 大田俊行

「骨粗鬆症の臨床検査と治療 Update」

演者 島根大学医学部内科学第一 杉本利嗣

12:50~13:10 専門医会総会

13:10~14:10 検査室マネージメント

司会 杏林大学 渡邊 卓

RF 標準化の問題点とご協力をお願い 熊谷俊一

H 医科大学検査部再立ち上げ苦労記 兵庫医大 小柴賢洋

平成 20 年度医療費改正と検査部 帝京大学 宮澤幸久

14:10~15:10

パネルディスカッション「標榜診療科としての臨床検査科」

司会 渡辺清明

パネリスト 東京医科大 福武勝幸

岡山大学 小出典男

天理よろづ相談所病院 松尾収二

### 第 18 回日本臨床検査専門医会春季大会

さる平成 20 年 5 月 30 日と 31 日神戸市において、第 18 回日本臨床検査専門医会春季セミナーを、神戸市において開催させて頂きました。「臨床検査なくして近代医療はあり得ない」ことが厚労省にも少しずつ理解され、検体管理加算や迅速検査加算などが算定されてきたのはご案内の通りであります。また、本年 4 月からは「臨床検査科」が診療科として認められ、臨床検査専門医や本専門医会の存在の重要性は益々増えています。今回の春季大会のテーマはとくに設けませんでした。臨床検査の意義を正確にまた科学的に理解することの機会にしたいと考えました。これを臨床検査という広く奥深い領域すべてで行うことは不可能ですので、いくつかの分野について第一線で活躍の先生のお話を伺うことと致しました。

第 1 日目の 30 日は夕刻午後 6 時から、神戸大学医学部消化器内科学講座の東 健教授に「ヘリコバクタ・ピロリ感染の臨床の位置づけ」と題して、胃潰瘍や ITP はもとより胃ガンなどとの関連など第一線の臨床とともに先生の発見されたピロリ病原因子 CagA と発ガンとの関連など基礎研究を交えたご講演を頂きました。第 2 日目午前は、「検査を生かす」とのテーマで、第一線でばりばりの臨床をされている 4 名の先生に、慢性肝炎と肝癌(豊田秀徳先生)、高脂血症(山下静也先生)、血栓症と凝固異常症(江口 豊先生)、感染症(嶋津岳士先生)について、各分野における臨床検査の生かされ方のお話を伺いました。とくに江口先生と嶋津先生は救急医学を専門とされる先生であり、救急医療での臨床検査医学の重要性を再認識しました。

午後からは、平成 20 年度の医療費改正と検査部との関係について宮澤幸久先生にお話し頂きました。臨床検査医学会や専門医会で行ってこられた地道な活動が、今回の改正にも生かされていることが実感されました。また「臨床検査科」が診療科として認められることを受けて、臨床検査専門医会としても、可能であれば、一定の考え方を示す必要があると考え、その第一歩として、渡辺清明会長にご司会頂き、「標

傍診療科としての臨床検査科」というパネルディスカッションを企画しました。3人のパネリストの先生をはじめ多くの先生からの色々な考え方を頂きその理解が深まったものと思っています。

おかげさまで天候にも恵まれ総勢120名という多くの先生にご参加いただき活発なご討論を賜りました。これもひとえに、ご参加の先生、ご講演ならびにご司会賜りました先生、そして関係者の皆様方のご協力と援助の賜物と、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

(神戸大学医学研究科臨床検査医学 熊谷 俊一)

## 【日本臨床検査専門医会設立25周年記念行事報告】

本年は当会設立25周年にあたるため、従来の振興会セミナーの開催を中止し、日本臨床検査専門医会設立25周年記念行事を以下の通り開催いたしました。約110名を超える参加者があり、盛会のうちに終了しました。

開催日時：平成20年7月18日(金) 13:30~19:00

会場：東京ガーデンパレス

第一部：記念セミナー(テーマ「医療行政と臨床検査」)

座長 渡辺清明(日本臨床検査専門医会 会長)

1. 平成20年度診療報酬改定について

待鳥詔洋 先生(厚生労働省保険局医療課 課長補佐)

2. 診療報酬改定における臨床検査の位置づけ

宮澤幸久 先生(日本臨床検査医学会 理事長)

第二部：記念式典

(司会 佐守友博 日本臨床検査専門医会 渉外委員長)

開会の辞 渡辺清明(日本臨床検査専門医会 会長)

来賓祝辞 宮澤幸久(日本臨床検査医学会 理事長)

鈴木博正(社団法人 日本臨床検査薬協会 副会長)

感謝状および記念品贈呈 元代表および歴代会長

元代表および歴代会長ご挨拶

閉会の辞 熊谷俊一(日本臨床検査専門医会 副会長)

第三部：記念パーティー

(司会 佐藤尚武 日本臨床検査専門医会 庶務会計幹事)

開会の辞 渡邊 卓(日本臨床検査専門医会 副会長)

来賓祝辞

才藤純一(社団法人 日本臨床衛生検査技師会 副会長)

箕輪正和(社団法人 日本衛生検査所協会 常務理事)

乾杯 丹羽正治(日本臨床検査専門医会 名誉会員)

中締め 高木 康(日本臨床検査専門医会 監事)

## 日本臨床検査専門医会設立25周年記念式典を終えて

皆さんご無沙汰しています。渉外委員会の委員長を仰せつかりました(株)日本医学臨床検査研究所の佐守です。ご無沙汰どころか、初めましての先生方もたくさんいらっしゃると思いますが、本年より渡邊清明先生が本会会長に選出され、新執行部の一員として20年ぶりに常任幹事(幹事は10年ぶり)を拝命しましたので、ついついご無沙汰が最初に出てしまいました。奇異に感じられた先生には申し訳ございません。

渉外委員会委員長としての初仕事が、この25周年記念事業でした。25周年事業の開催について執行部で検討した結果、春季大会に併せるには時間が短すぎ、総会までは時間がありすぎるということで、従来の振興会セミナー(今年度から振興会組織は会則上なくなり賛助会員向けセミナーとなった)を予定していた7月18日に、セミナー開催と同時に記念式典と宴会を開催することとなりました。そのために振興会セ

ミナーを担当する渉外委員会の委員長の小生が本記念事業を担当することになりました。

渉外委員会のメンバーの先生方には、「大きな作業をお願いすることはありませんので就任をお願いします」と頼み込んだこともあり、極力ご迷惑をかけないようにと心掛けました。結果的には、賛助会員の有志※と庶務会計幹事の佐藤尚武先生ならびに事務局の矢部由紀子女史と弊社常務秘書土井三千子女史の全面的なご協力とご尽力を仰ぎ、開催にこぎ着けることが出来ました。

記念事業当日は本誌行事報告にもあるように三部構成で、25周年記念賛助会員向けセミナー・記念式典・記念パーティーの順に、滞りなく進行していきました。日本臨床検査医会としては初めての周年行事でもあり、多くの会員(臨床検査医47名、賛助会員58名)に加え5団体6名のご来賓のご出席をいただきました。最初に日本臨床検査医学会の宮澤幸久理事長、次に日本臨床検査薬協会の鈴木博正副会長からご祝辞をいただき、歴代の代表・会長に感謝状と記念品の贈呈が行われました。当日ご出席の村井哲夫創立時代表、河合忠初代会長、森三樹雄第4代会長からは、思い出のひとつとしてそれぞれ往事を忍ぶと共に臨床検査医のさらなる発展に期待を込め、現役世代に対する激励がありました。

好評だったのは、臨床検査ゆかりの先生方と活動のシーンを収録した思い出のアルバム(約15分)の上映で、会員諸氏の若い頃の写真や生前の先輩のお姿に、全員が懐かしく、また、「よく遊びよく学ぶ」を地で行く我々臨床検査医にもきっと陽の当たる日が来るという思いを共有できたひと時でした。当日ご欠席の大場康寛第2代会長と河野均也第3代会長のお写真は、それぞれ大写真で留められ、前もって頂戴したお言葉を司会の小生より紹介させていただきました。

式典の会場には、賛助会員各社の重鎮も数多く駆けつけていただいております。学界・業界の黎明期から我々と共に歩み、時には我々を指導援助くださった方々から、高木康先生の名司会で次々と飛び入り(?)でお祝いの言葉を頂戴することができました。最後に水岡慶二先生から「もっと検査室の運営管理に精を出し臨床検査医学の正しい発展に一層の、いや真剣な努力を求めろ」という厳しいお言葉があり、一同身の引き締まる思いと「このままではダメだ!!」という多くの先輩の声を実感することができました。

渡辺卓副会長の挨拶で始まった記念パーティーでは、日本臨床衛生検査技師会才藤純一副会長、日本衛生検査所協会箕輪正和常務理事からのご祝辞で、我々は今一致団結してこの臨床検査の危機に立ち向かわなければならないのであることを感じながらも、旧知とのガーデンパレスでの晩餐に全員舌鼓をうち、盛会のうちに全予定を終了しました。

ご出席いただけなかった会員の先生方や臨薬協の方々にも、今回の記念式典が無事滞りなく執り行われ、かつ有意義であったことをここにご報告いたします。

※記念行事に協力頂いた賛助会員の有志

太田順一郎氏(アボットジャパン(株))、寺原一行氏(三菱化学メディエンス(株))、山崎敏治氏(ロシュ・ダイアグノスティクス(株))、金子大氏(株カイノス)、山中光明氏(和光純薬工業(株))、岸尾正則氏(シノテスト)

(渉外委員会委員長 佐守 友博)

## 【平成20年度行事予定のお知らせ】

平成20年度後半の日本臨床検査専門医会 行事予定をお知らせいたします。

開催日時、場所の変更が生じる場合があります。変更が

あり次第 JACLaP WIRE、JACLaP NEWS でお知らせします。  
その都度ご確認ください。

#### 第五回常任・第三回全国幹事会

日時：平成 20 年 11 月 27 日(木) 12 時～13 時 30 分

会場：名古屋国際会議場 2 号館 2 階 会議室 225

#### 第 32 回日本臨床検査専門医会総会

日時：平成 20 年 11 月 27 日(木) 13 時 30 分～14 時

会場：名古屋国際会議場 2 号館 3 階 会議室 231(第 7 会場)

#### 日本臨床検査専門医会講演会

日時：平成 20 年 11 月 27 日(木) 14 時～15 時

会場：名古屋国際会議場 2 号館 3 階 会議室 231(第 7 会場)

演者：岡嶋 研二先生

(名古屋市立大学大学院医学研究科

展開医科学分野 教授)

演題：臨床検査による敗血症の重症化予測

—早期 治療への応用

司会：前川 真人先生(浜松医科大学臨床検査医学 教授)

#### 第六回常任幹事会

日時：平成 20 年 12 月 19 日(金) 12 時～15 時

会場：日本臨床検査医学会事務所

### 【第 24 回臨床検査専門医認定試験合格者】

平成 20 年 8 月 2 日、3 日に第 25 回臨床検査専門医認定試験が昭和大学医学部でおこなわれ、以下の先生が合格しました。

合格おめでとございます。今後のご活躍を期待いたします。

(50 音順/敬称略、29 名中、日本臨床検査専門医会会員 28 名)

池田 均	岡田 基	小倉加奈子	小山 徹也
菅野 渉平	北澤 淳一	窪田 良次	黒川 敏郎
小池由佳子	鯉渕 晴美	榊原 綾子	坂本 輝彦
佐藤 孝	杉浦 哲朗	高瀬 優	田伏 洋子
東浦 礼	長井 篤	中田 幸子	橋口 照人
藤井 丈士	藤井 康友	古川 泰司	三橋 知明
森信 暁雄	森山 耕成	森吉 美穂	山下 理子
山根 徹			

### 【第 19 回日本臨床検査専門医会春季大会のお知らせ】

第 19 回日本臨床検査専門医会春季大会が下記の要領で開催されます。

開催予定会場：富山国際会議場

開催予定日時：平成 21 年 6 月 12 日(金)～6 月 13 日(土)

大会長：北島 勲 教授

(富山大学大学院医学薬学研究部

臨床分子病態検査学講座)

事務局：富山大学附属病院検査部内

(事務局長：宇治 義則)

電話 076-434-7737、FAX 076-434-5081

多数の会員の参加をお待ちしています。

### 【会費納入について】

今年度もすでに 9 ヶ月が過ぎましたが、本年度会費をまだお支払い頂いていない先生もいらっしゃいます。会費未納の先生は、至急お振込ください。

なお、振込用紙をなくされた先生は、

年会費 1 万円

郵便振込口座：00100-3-20509 日本臨床検査専門医会事務局 までお願いいたします。また、ご自身の振り込み状況が不明な先生は、事務局まで E-mail または FAX でお問い合わせください。

### 【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】

最近、住所・所属の変更にもなるとなると定期刊行物、JACLaP WIRE など電子メールの連絡が着かなくなる会員が多くなっています。

勤務先、住所および E-mail address の変更がありましたら必ず事務局までお知らせください。

勤務先、住所の変更は、ホームページから会員登録票をダウンロードしてそれに記載し FAX あるいは E-mail でお送りください。

### 【編集後記】

この 101 号より編集主幹を担当させていただくこととなりました。昨年、専門医試験に合格したばかりで、このような大任をきちんと成し遂げることができるのか、一抹の不安を感じずにはいられません。微力ながら最善の努力をいたす所存でございますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私にとって、新たなスタートということはもちろんですが、これを機に情報・出版委員会におきましても、JACLaP NEWS のみならず当会の出版物(Lab CP、JACLaP WIRE)の体裁・内容を全面的に見直し、会員の皆様方に有効に利用していただけますよう革新していく予定です。今後、Lab CP は検査室業務に役立つテーマなどで特集号形式となります。JACLaP NEWS は 4 回/年の予定で発行し、Lab CP の春季大会、セミナー等の記録原稿を簡略化し、JACLaP NEWS にまとめさせていただきます。Lab CP や、JACLaP NEWS の企画として皆様方の率直なご意見、ご要望などを情報・出版委員会までお寄せ下さい。

今年の JACLaP NEWS は、記念特集号の 100 号を除き 99 号のみの発行ですので、この 101 号については事務局便りが主となっています。次号(11 月予定)より皆様方にご好評(ご精読される場合だと思われませんが…)の会員の声を掲載いたしますのでお待ちください。会員の声に関しましては、皆様方からのご投稿で成り立っております。突然の原稿依頼をお願いいたしますが、短い文章でもかまいません。皆様方の知識や経験、造詣から蘊蓄など、忌憚のないご意見をお待ちしておりますので、是非ともご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

(編集主幹 東京大学医学部附属病院検査部 金子 誠)